

教育委員会会議録

令和2年2月5日(水) 午後1時30分 開会

午後2時28分 閉会

1 議事日程

別紙のとおり

2 出席した委員等

長谷川洋教育長、広沢憲治委員、大須賀憲太委員、伊藤志のぶ委員、佐々憲一委員
塩谷育代委員

3 説明のため出席した職員

新村和昭事務局長、横井英行次長兼管理部長、小林整次学習教育部長
川村雄司生涯学習監、山田知子総合教育センター所長、稲垣直樹総務課長
稲垣宏恭教育企画課長、宮川俊行財務施設課長、中田勝徳教職員課長
稲葉均福利課長、大道伊津栄生涯学習課長、小島寿文高等学校教育課長
伊藤克仁義務教育課長、鈴木能成特別支援教育課長、木村誠保健体育課長
高橋亮太文化財保護室長、伊藤尚巳総務課主幹、坂川智総務課主幹
長坂昌彦財務施設課主幹、加納澄江高等学校教育課主幹、伊藤孝明義務教育課主幹
太田佳永子総務課課長補佐

4 前回会議録の承認

長谷川教育長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

5 教育長報告

愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和元年度第3回）について

小島高等学校教育課長が、愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和元年度第3回）について報告。

長谷川教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(伊藤委員)

今回の会議の前提は、私立高校は3校受験可能なまま公立高校だけが日程・入学者選抜制度を見直すという進め方であったのか。

(小島高等学校教育課長)

この会議は公立高校の入学者選抜制度を協議していただくものであり、私立高校の制度とは切り離して検討された。

(伊藤委員)

公立高校の入学者選抜制度の見直しによって、利するのは私立高校という結果になりかねないため、その視点でも会議の中で検討してもらいたい。

6 請願

請願第13号 「生徒の、進路に関して、不適切事例の調査等を行い、問題解決にあたること」を求める請願

長谷川教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(伊藤委員)

私立学校では不適切事例が起きないように努力していると思うが、私立中学校や私立高等学校への受験に関して、学校案内、願書、調査書、面接等における不適切事例があるか。主に高等学校からだと思うが、就職等に関して、面接等における不適切事例に関する調査は行っているか。

(伊藤義務教育課長)

私立学校への受験に関する不適切な事例については、把握していない。また、就職等に関する不適切な事例についても把握していない。

私立中学校や私立高等学校への受験に関して不適切事例の報告が上がってきた場合、私学振興室へ連絡し、適切な対応を依頼するように努めている。

(小島高等学校教育課長)

高校生が受験する就職試験については、厚生労働省からの依頼により不適切事例の調査を行っている。

請願第14号 「教育委員会における(事務局・学校等)、女性職員の、管理職登用・活躍の実行に関する請願」

長谷川教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(大須賀委員)

日本の男女共同参画は報道によると男女平等121位と低い位置にあり、特に政治と経済の面で低い。それに比べて教育は進んでいる方だと思うが、実際学校における女性管理職の割合はどのようなようであるか。

(中田教職員課長)

平成31年度においては、小中・義務教育学校で22.0%、県立学校で14.3%、全体では20.2%となっている。

全体の推移では、平成28年度は16.9%、平成29年度は17.5%、平成30年度は18.6%、平成31年度は20.2%と毎年上昇している。

(大須賀委員)

他分野に比べて、着実に数字を伸ばしていると思う。優秀な女性の中にも管理職を目指さない人もいるという話を聞く。日本社会全般にわたって、女性が働きにくいということがあるのではないか。女性が管理職を目指さないということが無いよう、今後とも数字をあげていくように願う。

7 議案

第1号議案 愛知県指定文化財の指定について

高橋文化財保護室長が、愛知県文化財保護審議会の答申を受け、愛知県文化財保護条例に基づき、愛知県指定有形文化財としての指定をする必要があるため請議。

長谷川教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

第2号議案 県立高等学校教育推進実施計画（第2期）について

小島高等学校教育課長が、「県立高等学校教育推進実施計画（第2期）」の策定について請議。

長谷川教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

（大須賀委員）

大変素晴らしい内容である。ソフト面は良いと感じるが、学校における設備などのハード面、例えばプロジェクターやタブレット端末の数など、生徒に寄り添った形になっているか。良い内容の計画を立てても、計画の実行には予算がついてまわる。例えば長寿命化計画についても苦肉の策であり、本来であればもっと予算をかけ、良い設備の所に学生を迎えるべきである。愛知県は東京都等と違い、進学する際、私立高校にではなく、まず地元の公立高校にという風土であると思う。私立高校の良さは設備面が充実していることであり、今後設備面での競争が私立高校を含めて行われれば、私立高校に入学する生徒が多くなり、公立高校のレベルや質が落ちてしまうのではないかと心配である。高望みしてでも予算の必要性について声をあげていかなくてはいけない。この計画にも予算という裏付けをしっかりとつけてもらいたい。

（宮川財務施設課長）

県立学校施設長寿命化計画は2019年度から2029年度まで11年間の計画であり、今年度が初年度である。施設が膨大であり、一斉に更新時期を迎えるため、予算の確保も課題となっている。来年度以降いよいよ実行の段階に入ってくる。全体で1,172億円、単純に10年で割っても117億円となるが、厳しい財政状況の中でもしっかりと行っていきたい。改修工事については、経年劣化により機能が低下した屋上防水や外壁、給排水設備電気設備等の回復を図る。また、物理的なものだけでなく、バリアフリーに代表されるような機能面での老朽化対策、女性の社会進出に伴う女子トイレの問題やLED照明など省エネ化等も併せて進めていく。多額の事業費となるが、施設の活用の最適化を考えながら進めていく。

（大須賀委員）

長寿命化は、学校だけでなく橋や道路も対象となり、相対予算の中での順番になると思う。少子化も悪いことのように言われているが、子どもが減れば1人あたりの予算が増えていっても不思議ではないという感覚が自分にはある。先日、少ない生徒を1人の先生が教えている姿を見て理想的だと感じ

た。子どもが減ったから学校を減らすという発想でなく、知恵を絞って教育予算を確保していくことが今後必要である。

第3号議案 愛知県教科用図書採択地区の設定の一部改正について

伊藤義務教育課長が、愛知県教科用図書採択地区の適正規模について、協議・検討の結果、採択地区を一部改正する必要があるため請議。

長谷川教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

8 協議題

長谷川教育長が各委員に諮り、協議題（1）令和元年度教育委員会所管2月補正予算（案）について、協議題（2）令和2年度教育委員会所管当初予算（案）について、協議題（3）愛知県立学校条例の一部改正について、協議題（4）愛知県文化財保護条例の一部改正について、協議題（5）地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十三条第一項の規定に基づく職務権限の特例に関する条例及び愛知県局設置条例の一部改正について、協議題（6）愛知県職員定数条例の一部改正については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく事前協議であるため、非公開において審議することとした。

（1） 令和元年度教育委員会所管2月補正予算（案）について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

（2） 令和2年度教育委員会所管当初予算（案）について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

（3） 愛知県立学校条例の一部改正について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

（4） 愛知県文化財保護条例の一部改正について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

（5） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十三条第一項の規定に基づく職務権限の特例に関する条例及び愛知県局設置条例の一部改正について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

（6） 愛知県職員定数条例の一部改正について

非公開において協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

9 その他

なし

10 特記事項

- (1) 長谷川教育長が今回の会議録署名人として佐々委員を指名した。
- (2) 宮崎邦彦氏から、「生徒の、進路に関して、不適切事例の調査等を行い、問題解決にあたること」を求める請願について口頭陳述したい旨の申し出があり、長谷川教育長が、前回会議録の承認後、5分以内に限り口頭陳述することを許可した。
- (3) 傍聴人 1名 記者 1名